



熱心に聞き入る来場者たち＝同所



講演する金子さん＝伊豆の国市のサンバレー富士見

かかりつけ湯協議会 伊豆の国で講演会 金子さん(元東急観光社長)語る

伊豆にも中国人誘客可能

健康増進のためのプログラムを進める伊豆地区の温泉宿泊施設で組織される「かかりつけ湯協議会」(53施設、鈴木基文会長)は16日、伊豆の国市のホテル・サンバレー富士見で記念講演会を開いた。

元東急観光社長の金子

家治さんが「新しい時代の新しい市場(マーケット)の見つけ方」と題し、注目される中国人誘客などについて語った。会員と観光関係者約30人が

来場した。

金子さんは、7月から観光査証(ビザ)条件緩和で中国人観光客の重要性が高まったことを強調した上で「中国人を

「こる」とし「日本人と中国人の習慣が違う。経営面で反映させるのは3分の1ぐらいにすべき」と述べた。

調した上で「中国人を

また、今後の中国人観光は「家族旅行が増える。1家族10人ぐらいで、

3部屋の単位になるので、伊豆半島にも誘客できる可能性が高い」と話した。観光について「買い物と言われているが、温泉や食事を求める層も今後増えるはず」と語った。続いて、介護福祉士で理学療法士の山辺潔さんも「伊豆にお年寄りを迎えるよう」と題して講演した。